

# 志賀原発を廃炉に！原告団ニュース vol.5

原告団事務局 〒920-0961 金沢市香林坊1-2-40 TEL 076-261-4657

2013.3.20

## 2月6日 第2次提訴一訴状提出 —福島から避難されている方々の生の声を裁判に—



2013年2月6日、志賀原発の運転差止め・廃炉を求める裁判の第2次提訴を行いました。

第2次提訴原告（全員福島から金沢に避難されている）5名のうち3名が参加し、総勢23名が北陸会館に集まりました。午後3時、横断幕を掲げて裁判所まで行進し、無事提出を終えました。

### 報告集会および記者会見（午後3時30分～5時）

#### ◇堂下健一副団長あいさつ

昨年6月の第一次提訴、本日第二次提訴で提訴は完了する。全国的に廃炉訴訟が起きている。再稼働の動きがある中、廃炉に向けて進もう。

#### ◇浅田正文第2次原告代表あいさつ

原発事故の発生により、夫婦・親子で避難に関して問題が発生している。この金沢にも360～400人が避難している。再稼働されても核のゴミは解決されない。活断層もある志賀原発を再稼働させてはいけない。福島の経験を他の人にさせてはならない。廃炉まで頑張る。

#### ◇岩淵正明弁護団長あいさつ

今回福島から避難された人に限定して提訴した。石川へ避難した人たちによるこの第2次提訴には大きな意義がある。事故後の世論調査では、8～9割の国民が脱原発を意思表示している。安倍政権と国民の意思との間にズレが生じている。耐震指針では事故は防げない。裁判を頑張っていく。

#### ◇意見発表（宮田秀晴さん—第2次原告）

事故後12月に福島から避難してきた。

福島では、不平や不満が出てきており、人々の心が不健康になっている、その原因は原発である。事故の責任は、もちろん政府や東電にあるが、私たち一人ひとりも反省し、目覚めた者から新しい価値観をつくり、行動を始めよう。

#### ◇意見発表（浅田真理子さん—第2次原告）

避難指示が出て、すぐに金沢に避難した。このようなことは福島だけでいいという思いでこの訴訟団に入った。



# 志賀原発を廃炉に!訴訟 第3回口頭弁論開かれる!!

2013年3月4日、第3回口頭弁論が開かれました。裁判に臨んで原告・サポーター総勢約50名が北陸会館に集まり、横断幕を掲げて裁判所まで行進しました。抽選の結果、原告および傍聴者など16名が弁護団とともに法廷内に入ることができ、午後1時30分に開廷されました。

まず、浅田真理子さんが、次いで宮田秀晴さんが各々10分間の意見陳述を行いました。その後、40分間ほど第5から第7までの準備書面の説明に入りました。口頭弁論自体は、およそ1時間で終了しました。

## 3.4 口頭弁論報告集会（午後3時～4時30分）

### ①北野弁護団長のあいさつ

第1次・第2次訴訟を合わせた最初の口頭弁論である。45年におよぶ原発反対闘争に決着をつける闘いであり、福島を繰り返させない闘いでもある。

### ②岩淵弁護団長のあいさつ

政府の「総合資源エネルギー調査会総合部会」から脱原発派の有識者が外され、再稼働を進める動きがある。世論調査によれば、依然として脱原発を求める国民が70～80%いる。北電側は追及に対して無反応である、状況変化を待っているのかも知れない。

### ③中田弁護士からの報告

今回提出した第5から第9までの準備書面の説明。

第5準備書面は「震源を特定せず策定する地震動の不合理性」。北陸電力はM6.8に耐えられる施設であれば安全だとしているが、今までに起きた地震の最大のはM7.3であり、北電の想定は不合理であること。

第6書面は「志賀原発の不要性」。北電は「原発がなければ電力は足りない」と宣伝してきたが、昨年夏に余裕をもって供給できたこと。

第7書面は「放射性廃棄物処理の問題」。毒性の強い放射性廃棄物の安全、確実な処理方法は確立されておらず、負の遺産となっていること。

第8書面は「世論と社会通念の動向」。福島原発事故以後、今でも世論調査によれば、70～80%の国民は脱原発を望んでいること。

### ④浅田真理子意見陳述人の感想

体中が、心臓がドキドキした。福島の実情に立つのであれば、再稼働は到底できないはずだ。金沢で2年がたつが、原発行動が今は心の支えである。

### ⑤宮田秀晴意見陳述人の感想

定年後会津で活動してきたが、福島原発事故後、11月に金沢に来た。石川県はいいところだ。しかし、志賀の地で原発事故が起きれば、石川県がダメになる。今後も自然保護活動で頑張っていく。



なお、上記の裁判資料、原告側の第5～第9準備書面および北電側の準備書面(求釈明に対する回答)の全文は、志賀原発を廃炉に!訴訟ホームページに載せてあります。